

## 第 62 回 東京医療センター地域医療カンファレンス

開催場所： 国立病院機構東京医療センター 病棟会議室

開催日時： 平成 23 年 1 月 20 日（木） 19 時 30 分～

テーマ： 高齢者の尿路感染症 ～その傾向と対策～

担当： 国立病院機構東京医療センター 総合内科 保阪由美子

尿路感染症は市中感染症の中で頻度が高く、上行性尿路感染症はしばしば菌血症を合併し、高齢者や複雑性尿路感染症の場合、急激な経過で重症化することも少なくありません。近年先進国において高齢者数の増加が指摘されていますが、その中でも日本は超高齢化が進んでいます。高齢化と共に感染症の重症化も起きやすく、実際菌血症の報告も年齢に比して増加しています。

高齢者の場合は背部痛、血尿、排尿困難と言った典型的な尿路感染症の所見を認めず、意識障害や歩行困難などの非典型的な所見を訴えることも多く、そのような場合尿路感染症も考慮して、可能であれば血液培養や尿培養を行った上での抗菌薬使用が必要となります。高齢化と共に尿路通過障害を生じる基礎疾患も増加し、更に ADL 低下に伴ってカテーテル留置が必要になると尿路感染症のリスクは益々上昇します。以上より高齢化自体が尿路感染症のリスクとなりうる為、高齢者の診療においては常に尿路感染症の可能性を考える必要があります。現時点での尿路カテーテルについてのガイドラインについての知見などを交えて、高齢者の尿路感染症についての傾向と対策についてお話したいと思います。

### 担当医略歴：

平成 12 年 3 月 横浜市立大学医学部医学科卒業

平成 12 年 5 月 国立病院東京医療センター 内科研修医

平成 14 年 4 月 国立病院東京医療センター 総合内科後期研修医

平成 17 年 3 月 国立病院機構さいがた病院 内科医員

平成 17 年 4 月 国立病院機構東京医療センター 総合内科医員

### 学 会：

日本内科学会(総合内科専門医・指導医)、日本感染症学会(感染症専門医)、ICD(インフェクションコントロールドクター)、日本化学療法学会、日本環境感染学会、日本プライマリケア連合学会、日本糖尿病学会

\*このカンファレンスは日本医師会生涯教育講座の認定単位2単位を取得できます。